

ボクのワタシの 学校自慢

- Vol.9 -

足立区立加賀中学校 第三弾

『ボクのワタシの学校自慢』では、鹿浜地域学習センター近隣中学校の生徒の皆様から伺った、学校自慢をご紹介します。

12月号も引き続き加賀中学校を特集します。地域の方にも中学校の活動を知っていただいて、もっと身近に感じてもらいたいと思います。

4年ぶりの完全復活「文化祭」

今までで一番の文化祭に！

10/28（土）に文化祭が開催されました。新型コロナウイルス感染症の影響で、多くの学校行事が長らく中止・縮小されてきましたが、今年は文化祭の目玉である合唱コンクールも4年ぶりに復活し、生徒たちにとって初めての本格的な文化祭となりました。

今年度の文化祭テーマは「^{いち}」。これには一生懸命、一致団結、今までで一番などたくさんの意味がこめられています。



▲創立40周年の年に本格的な文化祭が復活

目玉の合唱コンクール

合唱コンクールは、全員で『夢の世界を』を歌った後に各クラスの合唱に移ります。

生徒にとって4年ぶりの合唱コンクールでしたが、堂々と胸を張って、歌っている姿がたくましく見えました。体育館には生徒たちの美しい歌声が響きハーモニーを奏でていました。

後ろで見学していた保護者も感激している様子で、合唱後は盛大な拍手が沸き起こりました。



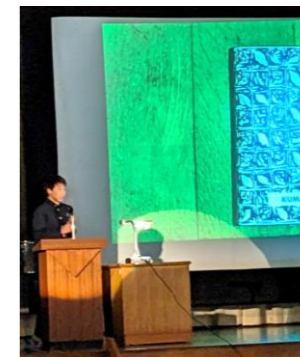
▲3学年課題曲『心の瞳』を合唱している様子

日ごろの学習の集大成を発表



▲「総合的な学習の時間」の発表の様子

「総合的な学習の時間」の発表では、学年ごとにテーマを決め、その学習の成果を発表しました。1学年は「魚沼自然教室」、2学年は「上級学校訪問」で訪れた高校の紹介、3学年は修学旅行で行った「北陸」について、学年の代表者が発表を行いました。



▲ビブリオバトルの様子。参加者の中には森田校長先生の姿も。

文化祭後半では、教員と生徒による自分の好きな本を語り合って競うビブリオバトルを開催。お気に入りの小説や写真集などを紹介していました。発表者は3分という時間の中で、クイズを出すなど個性あふれるビブリオバトルを行っていました。

生徒からのコメント

今回の文化祭で文化祭実行委員長を務めた佐藤さんにインタビューをしました。

文化祭実行員会に立候補したきっかけは、私にとって中学校生活、最初で最後の本格的な文化祭なので、積極的に参加し、盛り上げたいと思ったからです。

生徒の誰もが今回のような本格的な文化祭を経験していないため、自分たちで考えて作り上げなければならぬところに苦労しました。何事も全力で、という意気込みを持って取り組みました。

（文化祭実行委員会委員長 3学年 佐藤花さん）



▲文化祭実行委員会委員長 佐藤さん

足立区立加賀中学校紹介

<創立>昭和59年4月

<基本理念>誰もが生き生きと自発的に活動し、自己有用感を育む学校を創る

<教育目標>①学ぶ人（生涯学び続ける人）
②思いやる人（豊かな人間性）
③鍛える人（心身の健康）

加賀中学校は令和5年度で開校40周年を迎えます。



▲加賀中学校外観

次回予告 足立区立第五中学校を取材します。